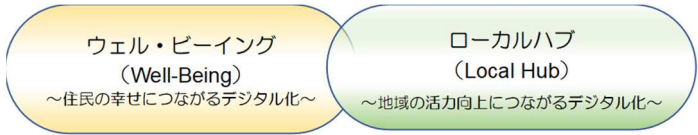
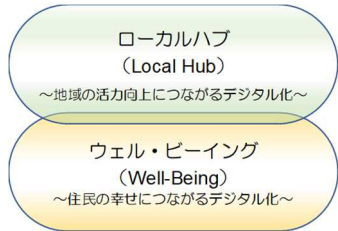


帯広圏デジタル化推進構想（骨子）（案） 対照表

	(旧) 原案（第3回書面会議資料）	(新) 案（第4回会議資料）	備 考
	<p>帯広圏デジタル化推進構想（骨子）（<u>原案</u>）</p> <p>1 1市3町で取組を進める背景</p> <p>（1）国のデジタル田園都市国家構想 （略）</p> <p>（2）生活圏としての特長と一定の規模感 （略）</p> <p>（3）デジタルの特性</p> <p>（略）</p> <p><u>更に、1市3町という一体的な生活圏を基盤とした様々なデータの集積は、生活環境に即したデジタルサービスを展開・発展する上で有用であると考えられる。</u></p> <p>2 基本的考え方と戦略</p> <p>デジタル化により、データを活用した、住民一人ひとりに合わせた情報提供や、時間的・距離的制約の低減など、様々な形での住民生活における利便性向上（<u>ウェルビーイング</u>）が期待できる。</p> <p>また、地域産業に対しては、業務の効率化による生産性の向上はもとより、テレワークなどによる働き方の多様化、ロボットなどによる労働力の確保、さらには取引先の多様化などのメリットが考えられる</p> <p>一方で、都市部への情報の集積などに伴う地域の競争力の相対的な</p>	<p>帯広圏デジタル化推進構想（骨子）（案）</p> <p>1 1市3町で取組を進める背景</p> <p>（1）国のデジタル田園都市国家構想 （略）</p> <p>（2）生活圏としての特長と一定の規模感 （略）</p> <p>（3）デジタルの特性</p> <p>（略）</p> <p><u>また、産業・技術・観光等に関するデータや人材を蓄積することにより、大都市での集積に負けない産業創出が可能な環境を生み出すことが可能となる。</u></p> <p>2 基本的考え方と戦略</p> <p>デジタル化により、データを活用した、住民一人ひとりに合わせた情報提供や、時間的・距離的制約の低減など、様々な形での住民生活における利便性向上が期待できる。</p> <p>また、地域産業においては、業務の効率化による生産性の向上はもとより、テレワークなどによる働き方の多様化、ロボットなどによる労働力の確保、さらには取引先の多様化などのメリットが考えられ、<u>帯広圏を起点として十勝圏域の産業・経済活性化につなげる可能性が広がっている。</u></p> <p>一方で、都市部への情報の集積などに伴う地域の競争力の相対的な</p>	<p>生活圏は（2）で触れており、産業面を重視した記述に変更</p> <p>後述の2つの戦略の図の横にそれぞれの説明を加えたため、文中のカッコ書きを削除したもの</p> <p>帯広圏での現状認識を追加</p>

帯広圏デジタル化推進構想（骨子）（案） 対照表

	(旧) 原案（第3回書面会議資料）	(新) 案（第4回会議資料）	備 考
	<p>低下など、負の影響も与えるものである。</p> <p>こうしたことを踏まえ、短期的には、身近な住民サービスの向上 <u>（ウェルビーイング）</u>に取り組みながら、中長期的なスパンでデジタルを活用した地域産業の活力向上を図る<u>（ローカルハブ）</u> 必要があり、この2軸を戦略とし、そのもとに4つの目指す方向性を位置づける。</p> <p>2つの戦略</p>  <p>目指す方向性</p> <p>○生活圏としての住民向けデジタルサービスの共通化</p> <p>通勤通学や買い物など、生活圏としての一体性を踏まえ、生活の中で共通して行う手続きなどを中心にデジタル化を図る。</p> <p>○デジタル化による地域産業の進化</p> <p>これまで十勝全体で<u>取り組んできた</u>フードバレーとかちなどを、デジタルの力で支援することにより、更なる効率化、活性化を図り、成長力向上を目指す。</p>	<p>低下など、負の影響も与えるものである。</p> <p>こうしたことを踏まえ、短期的には、身近な住民サービスの向上に取り組みながら、中長期的なスパンでデジタルを活用した地域産業の活力向上を図る必要があり、この2軸を戦略とし、そのもとに4つの目指す方向性を位置づける。</p> <p>2つの戦略</p>  <p>国内外と直接的につながりながら、生産性の向上等による地域産業の活性化や新事業の創発により、経済的に自立した広域都市圏を目指す</p> <p>住民の利便性を向上し、より安心して幸せな生活のためのサービスが提供される生活圏を目指す</p> <p>目指す方向性</p> <p>○ 生活圏としての住民向けデジタルサービスの共通化</p> <p>通勤通学や買い物など、生活圏としての一体性を踏まえ、<u>仕事や</u>生活の中で共通して行う手続きなどを中心にデジタル化を図る。</p> <p>○ デジタル化による地域産業の進化</p> <p>これまで<u>の</u>十勝全体で<u>の</u>フードバレーとかちなどの<u>取り組みを踏まえて、産業分野でのデジタル活用による生産性向上や働き方改革、起業・創業の活性化を図り、更なる</u>成長力向上を目指す。</p>	<p>後述の2つの戦略の図の横にそれぞれの説明を加えたため、文中のカッコ書きを削除したもの</p> <p>横に並べていたものを縦に並べ、横に説明を加えた</p> <p>文言整理</p> <p>記述の具体化</p>

帯広圏デジタル化推進構想（骨子）（案） 対照表

	(旧) 原案（第3回書面会議資料）	(新) 案（第4回会議資料）	備 考
	<p>○<u>次世代がデジタルを活用して羽ばたける土台</u>づくり</p> <p><u>デジタルに慣れ親しんだ</u>世代が、将来、デジタルを<u>より</u>活用できる環境づくりを図る。</p> <p>○関係人口や将来の住民に向けた圏域の魅力のアピール</p> <p>ワーケーションなど、デジタル技術を活用し、都市部の利便性を享受しつつ、この地に来なければできない体験を促進し、域外との更なる交流拡大を目指す。</p> <p>3 推進手法</p> <p>(1) <u>他</u>の事例の横展開を進める</p> <p>圏域内での先行好事例は、積極的に他の自治体も取り入れる。また、十勝エリアの他町村への効果的な取組の横展開も見据えた情報共有を図る。</p> <p>(2) スモールスタートで、できるところから始める (略)</p> <p>(3) デジタルに<u>親和性の高い</u>世代から広げていく</p> <p>まずは、デジタル機器に慣れており、仕事や子育て等で時間の取りにくい世代を主要なターゲットに想定してデジタルサービスを展開し、その後、他の世代への浸透を図る</p>	<p>○<u>デジタルの力で輝き続ける環境</u>づくり</p> <p><u>次</u>世代が、将来<u>にわたって</u>、デジタルを活用できる環境づくりを図る<u>とともに、継続的にデジタル活用に取り組んでいくためのデジタル人材の育成を目指す。</u></p> <p>○関係人口や将来の住民に向けた圏域の魅力<u>向上と発信</u></p> <p>ワーケーションなど、デジタル技術を活用し、都市部の利便性を享受しつつ、この地に来なければできない体験を促進し、域外との更なる交流拡大を目指す。</p> <p>3 推進手法</p> <p>(1) <u>圏域内外で</u>の<u>好</u>事例の横展開を進める</p> <p>圏域内での先行好事例は、積極的に他の自治体も取り入れる。また、<u>将来的な</u>十勝エリアの他町村への効果的な取組の横展開も見据えた情報共有を図る。</p> <p>(2) スモールスタートで、できるところから始める (略)</p> <p>(3) デジタルに<u>慣れ親しんだ</u>世代から広げていく</p> <p>まずは、デジタル機器に慣れており、仕事や子育て等で時間の取りにくい世代<u>など</u>を主要なターゲットに想定してデジタルサービスを展開し、その後、<u>全体</u>への浸透を図る。</p>	<p>文言整理</p> <p>人材育成に係る文言追加</p> <p>文言整理</p> <p>文言整理</p> <p>文言整理</p> <p>文言整理</p>

帯広圏デジタル化推進構想（骨子）（案） 対照表

	(旧) 原案（第3回書面会議資料）	(新) 案（第4回会議資料）	備 考
	<p>4 重点的に取り組む分野とテーマの例</p> <p>現段階で想定している重点分野とテーマについて、下記に記載する。</p> <p>行政手続：転出や転入届等、共通のオンライン手続きの導入</p> <p><u>地域情報：イベントや防災等の情報の共有</u></p> <p>子 育 て：子育てに関する手続きや情報のデジタル化</p> <p>教 育：デジタル人材の育成、ICT を活用した教育の推進、学校情報のデジタル化</p> <p>公共交通：自動運転など圏域内の移動サービスの試行的取組</p> <p>食・農業：DX 促進による地域産業の支援</p> <p>観 光：リアルとバーチャルの融合による体験の充実</p> <p>※最終的にはアドバイザリーボードにおいて議論の上で決定することとし、議論の内容を限定するものではない。</p> <p>5 構想の位置づけ （略）</p> <p>6 今後のスケジュール（案） （略）</p>	<p>4 重点的に取り組む分野とテーマの例</p> <p>現段階で想定している重点分野とテーマについて、下記に記載する。</p> <p>行政手続：転出や転入届等、共通のオンライン手続きの導入</p> <p><u>ヘルスケア：アプリ活用による健康増進や保健情報の提供</u></p> <p>子 育 て：子育てに関する手続きや情報のデジタル化</p> <p>教 育：デジタル人材の育成、ICT を活用した教育の推進、学校情報のデジタル化</p> <p>公共交通：自動運転、<u>MaaS</u> など圏域内の移動サービスの試行的取組</p> <p>食・農業：DX 促進による地域産業の支援、<u>農業関連データの共有・活用の検討</u></p> <p>観 光：リアルとバーチャルの融合による体験の充実、<u>イベント情報等の共有</u></p> <p><u>エネルギー：デジタルを活用した新事業の創出</u></p> <p>※最終的にはアドバイザリーボードにおいて議論の上で決定することとし、議論の内容を限定するものではない。</p> <p>5 構想の位置づけ （略）</p> <p>6 今後のスケジュール（案） （略）</p>	<p>ヘルスケア分野を追加</p> <p>MaaS を追加</p> <p>記載を追加</p> <p>「地域情報」はイベントと統合</p> <p>エネルギー分野を追加</p>